

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2020年 10月 2日 発行

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井 宣光

(今年度より HP および Classi 配信のみとしています)

「我慢は自分を見失わないこと」 (歴史小説の一節)

体育祭を終えて衣替え

2日、雨天のため延期していた体育祭が開催されました。清々しい秋晴れのもと、午前中は中学の部、午後は高校の部の2部制でプログラムにも工夫を凝らし、まさに一から手作りの体育祭となりました。生徒は学年の枠を超えて、縦割りの4グループに分かれ、青赤黄緑のおそろいのTシャツとうちわを手に得点を競い合いました。高校の部の閉会式の後には、体育功労・奨励賞の授与式があり、入学以来運動部に在籍していた高3生は顧問教員から記念メダルを受け取りました。名物の仮装行列や高3学年のソーラン節は取りやめ、各家庭お一人ずつの保護者観覧など様々な制限のなかでしたが、全員が弾ける笑顔を見せてくれました。「体育祭ができて本当に良かったですね。」多くの保護者の皆様から労いの言葉をいただきました。感謝申し上げます。



〈グループごとのうちわの裏面には校歌。右は生徒作品のプログラム冊子〉

冬服への衣替えは10月5日です。合い服がない松蔭の衣替えは5月の第3土曜の翌週から夏服、10月1日に冬服へ衣替えというルールです。昨年も1週間遅らせましたが、近年は10月に入っても気温が高い日が続く、夏服装用の期間を延長する年が増えました。

9月の学校生活から

高校3年生は、大学進学に向けての準備の真っ只中です。指定校推薦制度では、54名の生徒を推薦することが決まりました。現在、総合型選抜(AO入試)や公募推薦、併設大への内部進学制度(松蔭特薦)を利用する生徒の進路指導や補習を行っています。年明けの大学入学共通テストや一般入試に向けて準備を重ねている生徒もいます。また、高1、高2生を対象とした進学関係のガイダンスや講演会を順次実施するほか、次年度の選択科目登録やコース希望の申請なども予定されています。進学、進級への各自の健闘を祈りたいと思います。



昼食は1学期同様、教室の自席で食べるルールを継続しています。平日のみですが、校長室前ではパン屋さんの出張販売が行われています。お弁当を食べ終えた生徒が「物足りないのもう一つ…」「ラスクが美味しい」「暑いからフローズン」と次々に購入しています。国際交流では、例年行っている異文化研修や訪問団の受け入れがストップしていますので、現在、海外の姉妹校生徒とのペンフレンド交流を行っています。先月末、中学1年から高校3年の約100名の生徒が、ニュージーランド St. Peter's 校、韓国聖明(そんみょん)女子中学の生徒へ英文の手紙を送り、返事を待っているところです。手紙の往復から芽生える新たな友情を期待しています。コロナ収束の後には直接行き来して顔と顔を合わせ、手に手を取り合う交流を深めたいと考えています。

自分を見失わないーネガティブ・ケイパビリティをそなえてー

戦国時代が舞台の歴史小説を読みました。戦乱で家族が離散する苦難の中にあつて、懸命に生き抜こうとする主人公が「我慢は自分を見失わないこと」と一人語りする場面が心に残りました。老若男女を問わず「もう我慢できない！」と叫ぶ時、平常心は失われ心をコントロールできなくなっている場合が多いように思います。他人の振る舞いに怒りが沸騰して「私はキレそう」と怒鳴り声をあげて口汚（くちぎたな）く罵（ののし）りの言葉を発する瞬間、人は自分を完全に見失っています。

我慢することは、心の動きを制御して爆発しそうな内面が表に飛び出そうになること防ぐことです。喜怒哀楽の感情の「垂れ流し」は、周囲の者にとっては迷惑の限りですが、抑えがきかずに冷静さを保てなくなれば、本人も接する人も嫌な気分だけが残ります。ストレスや怒りの原因となる出来事を目の当たりにして、心をコントロールしたり抑制したりしようとする行為自体もストレスを倍増させます。隣の芝生を見て自分ひとりが損ばかりとストレスを溜め込むこともしばしば経験するのではないのでしょうか。我慢をし過ぎても自分を見失い、一方で言いたい放題、やりたい放題で気分すっきり発散できたように見えたとしても、相手はもちろん本人も良い状態とは言えません。

ネガティブ・ケイパビリティ(Negative Capability)という言葉があります。「負の能力」「マイナスに耐える力」と訳され、最近では推理小説や医療小説作家の帯木蓬生（ははきぎほうせい）さんの著書「ネガティブ・ケイパビリティー、答えの出ない事態に耐える力」（朝日選書）が話題となりました。自分では解決できない問題や、どうしようもない事態に直面した時、持ちこたえる力と説明されることが多いようです。逆境にあつて辛抱する様子や我慢強く生き抜こうとする姿はネガティブ・ケイパビリティの一つの成果であり、冒頭の小説の一節もこれにあたるように思います。また、答えが出ない問題を目の当たりにして、あてもないこうでもないと考えを巡らせつつ、たとえ白黒がはっきりしなくとも、その状態をいったん受け入れる姿もまた、その力が発揮されているように思います。自らの選択にせよ導かれたにせよ、環境を良くも悪くも受け容れざるを得ない場面は、人生の過程でしばしば起こりうることでしょう。

ネガティブ・ケイパビリティは人間の器（うつわ）を大きくし、その人がそなえる度量は寛容の精神として周りの人にも安心感を与えます。現在もポストコロナ（コロナ後）も、自分を見失うことなく地に足つけて時代を生き抜く人を育てたいと考えています。生徒一人ひとりのネガティブ・ケイパビリティを育成することも本校の教育課題です。

10月の行事予定 主な行事予定です。詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

10月 2日(金) 体育祭 午前(中学の部)・午後(高校の部)

10月 3日(土) 自宅学習日 *中1GSのみミカエル国際学校連携授業 高校入試説明会

10月 5日(月) 衣替え 高1震災学習講演会

10月 7日(水) 中3 平和学習講演会

10月10日(土) 高校授業②校時まで

10月11日(日) 中学入試説明会 松蔭おかもと保育園「ふれあい運動会」会場

10月12日(月)~15日(木) 中間考査 *12日のみ中学授業③校時まで

10月16日(木) お誕生礼拝 高3松蔭特薦の推薦決定通知

10月17日(土)~18日(土) Blue Earth Project(高1、高2) 東京湾大感謝祭へオンライン参加

10月21日(水) 避難訓練(放課後)

10月22日(木) 高1・高2 実力テスト

10月23日(金) 中1~高2 秋の校外学習(学年、ストリーム別のプログラム) *高3自宅学習日・希望者実力テスト

10月26日(月) 高2総合 映画鑑賞「映画で見る東日本大震災」

10月28日(水) 中3総合 映画鑑賞「あの日の声を探して」